

## 第3回全国大会（7月3・4日）のお知らせ

本年度の全国大会が、7月3日（土）・4日（日）に神戸大学で開催されます。これに関して、常任理事会において詳しい参加要項・プログラムなどが決定されましたのでお知らせいたします。

### （参加申し込み）

同封の用紙にて参加申し込みを行って下さい。また、本学会HPからも参加申し込みができます。

### （参加費）

郵送・印刷などの雑費を補うために参加費をお願いします。大会参加費用は2000円、懇親会費は別途3000円となります。なお、大学院生・学部学生はそれぞれ1000円、2000円です。

## プログラム

### 第1日（7月3日）

#### ●自由論題セッションA

<午前10時～12時>

1. 八ツ尾美佐子（京都府立大学大学院）  
「留学生の異文化適応に関する一考察—在日中国人留学生のインタビューを通して」
2. 方 蘇春（聖泉大学人間学部）  
「私から見た日中文化の相違」
3. 金 美連（日本大学国際関係学部大学院  
国際係研究科博士後期課程3年）  
「キリスト教の受容における葬儀の変容—韓国・安佐島とソウル、日本・三島の事例による比較考察」
4. 李 修京（山口県立大学国際文化学部）  
「韓国の放課後教育の実態—馬山で実施したアンケートの結果の考察」

#### ●自由論題セッションB

<午前10時～12時40分>

1. 曹 海琢（龍谷大学国際文化学研究科  
博士課程）  
「戦後日本のマスコミにおける公害報道の特

徴と変化—発展途上国に伝えるべき教訓とメッセージ」

2. 桑田カツ子（会津大学短期大学部非常勤講師）  
「地方紙の10年間の国際交流記事から見える世界」
3. 奈良 雅美（神戸大学大学院国際協力研究科）  
「ハワイ人へのツーリズムのインパクト」
4. 山本 明代（名古屋市立大学人間文化研究科）  
「アメリカ合衆国東欧移民のアーカイブズ」
5. 示村 陽一（武蔵野大学）  
「ヨーロッパの反米主義—米欧の文明の衝突」

#### ●自由論題 セッションC

<午前10時～12時>

1. 松山 秀俊（神戸大学総合人間科学研究科）  
「フランスで現れる日本製マンガ・アニメの魅力」
2. 佐和 達児（京都造形芸術大学大学院  
博士課程）  
「夢野久作『童貞』に描かれたノイズミュージック」
3. 島村 一平（国立民族学博物館）  
「周辺サブ・カルチャーのパラドクス—ポス

ト社会主義モンゴルにおけるエストラード歌謡の現状から」

- 村上 明子 (関西外国語大学短期大学部国際コミュニケーション学科助教授)  
「共感というイデオロギー—アダム・スミス 堀景山 音声ナショナリズム」

#### ●自由論題セッションD

<午前10時~12時>

- 米澤 晋彦 (東北大学大学院国際文化研究科 博士課程後期)  
「技術と文化—柳宗悦とラスキン、モリスを事例に」
- 岸 清香 (日本学術振興会特別研究員、東京大学)  
「戦後フランスにおける美術と国家—1990年代の現代美術論争を手がかりに」
- 鈴木 祐輔 (法政大学大学院国際日本学 インスティテュート)  
「清沢満之における西洋思想の受容過程について」
- 太田垣総子 (東京大学大学院博士課程)  
「吉本ばなな『N・P』の英・伊訳比較」

#### ●常任理事会

<午前11時~12時>

#### ●旧理事会

<午前12時~午後1時>

#### ●自由論題セッションE

<午後1時~3時>

司会 小林 哲也 (京都大学)

○「ニューカマーたちの教育・文化についての考察」

- 松尾 隆司 (龍谷大学大学院国際文化学研究科修士課程)  
「外国籍児童生徒の日本語教育について」
- 村田 鈴子 (龍谷大学国際文化学部)  
「ブラジル人学校について」
- 青木 志帆 (同、国際文化学研究科修士課程)  
「言語教育の視点から—新しい言語教育のあり方について—」
- 村田 幸代 (同上)  
「多文化教育からの視点」

#### ●自由論題セッションF

<午後1時~3時>

司会 安野 早己 (山口県立大学)

- 山中 大輔 (龍谷大学国際文化学研究科 博士後期課程)  
「ドイツにおけるトルコ人移民によるイスラム組織に関する一考察」
- 小林 信彦 (桃山学院大学文学部 国際文化学科)  
「文献を通して見たバリ島の呪術文化」
- 小池 誠 (桃山学院大学文学部)  
「インドネシアのグローバル化するテレビ」
- 劉 榮純 (ユーヨンスン)(プール学院大学 国際文化学部非常勤講師)  
「日本におけるマイノリティーの異文化理解と共存—アジア系外国人妻(韓国)の国際結婚を中心に」

#### ●自由論題セッションG

<午後1時~3時>

司会 寺田 元一 (名古屋市立大学)

- 安部 剛 (徳島文理大学文学部教授)  
「ユーモラスディスコースとしてのジョーク」
- 山口 剛 (龍谷大学国際文化学研究科博士 後期課程)  
「IPCC (気候変動に関する政府間パネル)にみる環境外交—「知識」が及ぼす気候変動レゾームへの影響」
- 新ヶ江章友 (筑波大学大学院博士課程 人文社会科学研究科)  
「日本におけるエイズの言説と男性同性愛者の身体」
- 日高 勝之 (神戸親和女子大学文学部 総合文化学科助教授)  
「北朝鮮拉致被害者報道にみる日本のメディアのアイデンティティ・ポリティクス」

#### ●自由論題セッションH

<午後1時~3時>

司会 松居 竜五 (龍谷大学)

- 李 美香 (龍谷大学国際文化学研究科 博士課程)  
「韓国の朝鮮時代における仏教儀式音楽の研究—甘露幀画を中心に」
- 柳 圭相 (神戸大学大学院総合人間科学研究科博士後期課程)  
「鎌倉期貴族説話集に投影された朝鮮の諸相」

3. 神谷 信明 (岐阜市立女子短期大学  
国際文化学科)  
「儒教文化の保存と現況—韓国・安東を事例  
として」
4. 梅山 秀幸 (桃山学院大学教授)  
「『恨』(ハン)と『ものものあはれ』—韓・日  
宮廷小説の比較研究」

「日中戦争から太平洋戦争期のIPR英米両カ  
ウンシルの摩擦と緊張関係：政治文化の違い  
の観点から」  
山岡 道男  
「NZ、オーストラリア、カナダでのIPRの発  
足過程について」  
片桐 庸夫 (群馬県立女子大学)  
「日本IPRの活動とその限界性」

#### ●共通論題セッションI

<午後3時30分～5時30分>

○「多文化社会と文化政策」

- 司会 楯岡 求美 (神戸大学)  
報告 朴 理沙 (民族学級講師)  
「民族学級と文化共生」  
岩本 和子 (神戸大学)  
「ベルギーの多文化共生と文化政策」  
コメンテーター  
寺内 直子 (神戸大学)  
藤野 一夫 (神戸大学)

#### ●共通論題セッションJ

<午後3時30分～5時30分>

○「日本文化の『伝統』と『近代』」

- 報告 宇野田尚哉 (神戸大学)  
「転位する<国民の語り>  
—世紀転換期の『武士道』論をめぐって」  
影山 純夫 (神戸大学)  
「雑誌『国華』にみる日露戦争前後の日本画  
界」  
須崎 慎一 (神戸大学)  
「日露戦争—対日評価の分水嶺」  
真鍋 昌賢 (大阪大学)  
「義士伝から乃木伝へ—浪花節における武士  
道のゆくえ」  
コメンテーター  
野邑里栄子 (神戸大学百年史編集室)

#### ●共通論題セッションK

<午後3時30分～5時30分>

○「太平洋問題調査会(IPR)とその時代」

- 司会 山岡 道男 (早稲田大学)  
報告 大城ジョージ (桜美林大学)  
「桜美林大学創立者清水安三とハワイ」  
山内 晴子 (玉川聖学院)  
「朝河貫一の日本外交の理念」  
佐々木 豊 (相愛大学)

#### ●懇親会

<午後6時～8時>

於瀧川記念館

## 第2日 (7月4日)

#### ●共通論題セッションL

<午前10時～午後12時>

○「国境を越える新しい文化の創造—EU、文化理  
論、政治神学、政治コミュニケーションの視  
点から」

- 報告 富川 尚 (敬和学園大学人文学部)  
「EUの形成過程」  
伊藤 豊 (山形大学人文学部)  
「文化理論の視点」  
延原 時行 (敬和学園大学人文学部)  
「地球時代の政治神学：滝沢国家学とハタミ  
『文明の対話』学の可能性」  
司会兼コメンテーター  
前島 和弘 (敬和学園大学人文学部)  
「政治コミュニケーションの視点から」

#### ●共通論題セッションM

<午前10時～午後12時>

○「ポップカルチャーから見た文化の経済性」

- 司会 八木 匡 (同志社大学経済学部教授)  
報告 杉浦 勉 (丸紅経済研究所所長)  
「文化力と経済」  
二之湯武史 (文化プロデューサー「ブランデ  
ィング ジャパン」)  
石原 隆司 (ジ・サンケイ・ビジネス・アイ、  
演劇・料理評論家)  
「パフォーマンスアーツビジネスについて」

#### ●新理事会

<午前12時～午後12時50分>

●会員総会

<午後1時～1時30分>

●公開シンポジウム

<午後1時30分～午後4時30分>

テーマ 「国際社会における  
公共性の可能性を問い直す」

司会 坂井 一成

(神戸大学国際文化学部 = 国際関係論)

パネリスト

北村 友人

(名古屋大学大学院国際開発研究科 = 国際教育協力論、元・ユネスコ)

パネリスト

五月女 律子

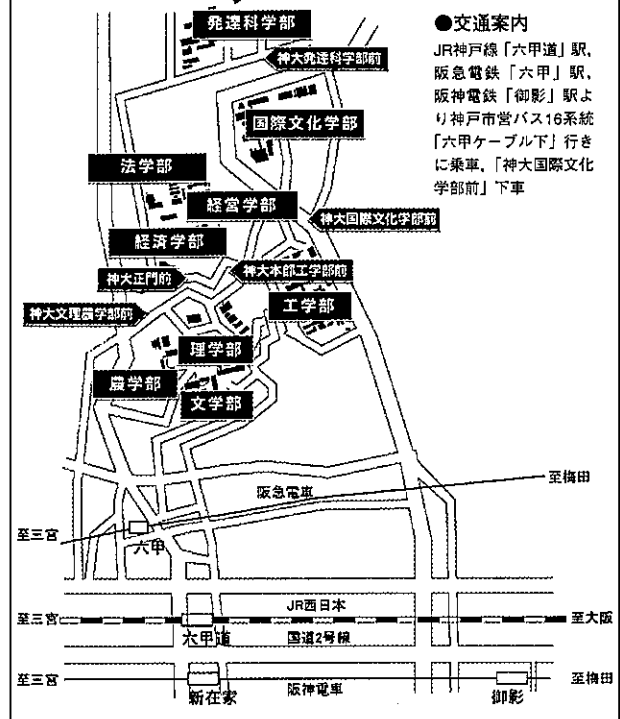
(藤女子大文学部助教授 = 国際関係論、  
現代北欧政治)

パネリスト

土佐 弘之

(神戸大学国際協力研究科 = ジェンダー政治)

会場案内図



●交通案内

JR神戸線「六甲道」駅、  
阪急電鉄「御影」駅より  
神戸市営バス16系統  
「六甲ケーブル下」行き  
に乗り、「神大国際文化  
学部前」下車

学会誌第2号について

学会誌『インターカルチュラル』第2号は2004年4月、京都のアカデミア出版会から出版されました。内容は以下の通りとなっています。

●インターカルチュラル第2号目次

特集：グローバリゼーションと文化

寺田 元一 「特集にあたって」  
シンポジウム「グローバリゼーションと文化」  
玉置 泰明 「介入」・戦略アイデンティティ

太田垣 聡子  
「シェルタリング・スカイ」における越境の表象

鳴原 敦子  
「貧困」と「持続可能な開発」についての一考察

外岡 尚美  
多文化主義の演劇実践

村田 鈴子  
「共生」のための教育の課題

遠藤 央  
都市空間の形成と変容

書評

三宅義子・片山弘基・安野早己  
山口県立大学国際文化学部編  
「国際文化学の創造」  
(明石書店) 竹内 均

馬淵 仁著  
「異文化理解のディスコース  
-文化本質主義の落とし穴」  
(京都大学学術出版会) 小島 勝

Fundacio CIDOB著  
*inintercultural/el: Balance y perspectivas /  
Bilan et perspectives/ Balance and perspectives*  
(CIDOB Edicions) 佐野 直子

